



【年主題】 共にあゆむ 【月主題】 ありがとう

【月目標】 ・豊かな秋の実りを喜び、神様に感謝する

- ・いろいろな働きによって私たちの生活が、支えられていることを知る
- ・自分の気持ちや考えを表現し、友達や保育者と伝えあう喜びを感じる

先月は、ばらさんのグループが変わったり、わかばさんのお友達が幼児フロアにお引越してきたりと、子ども達もたくさんの変化を感じた月になりました。

可愛いわかばさんがどのグループになるのかと楽しみにしたり、今まで一緒に過ごしてきたお相手さんと離れてしまうのが寂しかったりとそれぞれが色々な思いを感じていたようです。しかしすぐに新しいお相手さんやグループのお友達とも自分の思いを出し合い、関わりの中でお互いの存在を意識しあう姿も増えてきました。またこれまでは幼児フロアで一番小さかったさくらさんも、自分よりも小さなすみれさんのお手伝いを大好きなゆりさん・ばらさんのように真似したい気持ちや、一方でお相手さんに自分を見てもらいたい気持ちから出来る事でも「デキナイー」と甘えを出してみたりとたくさん刺激を受けて自分の気持ちを表現しています。

すみれさんはまだまだ緊張している表情もありますが、ゆっくりとお友達や環境に慣れていき幼児フロアを安心して楽しんで過ごせるようにと思っています。

また11月は、収穫感謝礼拝を守ります。普段から食べる事が大好きな子ども達。この日はみんなで持ち寄った秋の実りを囲みながら、いつも私たちにおいしい給食を作って下さる先生・食べ物を大切に育て、守ってくださる方・そして豊かな恵みを与えてくださる神様に礼拝を通して感謝の気持ちを持つ機会になればと思っています。



はいぜん たのしいな

ばらさんのお当番が始まり、ゆりさんには先生のお手伝いの配膳をしてもらっています。最初は、おやつ配膳からはじめ、皿にのせたり、お茶や牛乳をコップに入れていったりしています。配膳をしながら、「コレ タノシイナ」とお友達と話しながら楽しんでいきます。また、空になったお替り用のトレーやボール、牛乳パックを調理室まで運ぶことも楽しんでいきます。お当番は決められた人がすること、お手伝いは自分から気づいてすることと話をしながら、誰かの役に立つ喜びを感じてくれればと思います。



だいすきなおはなし《どうぞのいす》

絵本を読み始めてから自分たちで役を決めてやりとりを楽しんだり、お話に出てくるイスや食べ物をお相手さんと一緒に作って遊んでいます。『どなたでも どうぞ〜♪』と可愛い歌も大好きで口ずさんで楽しんでいる子ども達です。

